

平成31年 第1回帯広市教育委員会会議録

1. 平成31年 1月16日 水曜日 17時 ～ 17時30分
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 教育委員会室に招集する。

2. 本日の出席委員

教 育 長	嶋 崎 隆 則
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	塩 野 谷 和 男

3. 本日の議事日程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 その他(1) 今後の事業予定について

その他(2) 寄附受納について

その他

日程第3 報告第1号 帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画(原案)について
【非公開】

日程第4 報告第2号 帯広市小中一貫教育推進基本方針(原案)に対するパブリックコメントの結果について【非公開】

報告第3号 帯広市小中一貫教育推進基本方針(案)について【非公開】

嶋崎教育長

ただいまから、平成31年第1回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

佐々木委員より欠席の届け出を受けているため、出席委員は4名であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、田中委員及び塩野谷委員を指名いたします。

日程第2、その他に入ります。

その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

山下調整監

議案書57ページをご覧ください。学校教育部の2月の事業予定についてご説明いたします。教育研究所では、帯広市教育研究会一斉部会研究が2月1日に各学校を分散会場として、年間を通じて設定した研究テーマに基づき研修を深めます。平成30年度第2回教育研究所運営委員会を2月21日に今年度の研究成果について報告するとともに、今後の研究所の在り方等についてご意見をいただく予定です。以上です。

森川調整監

続きまして、生涯学習部に関する主な事業予定についてご説明いたします。生涯学習課では、帯広市民大学講座、吹き矢の基本と腹式呼吸法など5講座をご覧くださいの日程で予定しております。58ページ、文化課では、赤ちゃんが泣いても大丈夫なコンサート、あみゆぜ。ファミリーコンサートを2月10日14時から予定しております。59ページ、図書館では、平成30年度とかちジュニア文芸賞表彰式を2月24日に予定しております。百年記念館では、館が所蔵するひな人形や御所人形などを展示する、ロビー展、ひな人形展を2月8日から3月3日まで予定しております。60ページ、動物園では、ニホンザルに落花生を給餌する、節分の日、サル山で豆まきしよを2月3日に予定しております。最後にスポーツ振興室では、ほっとドリームプロジェクトの一環として、スケートキングダム、キッズを2月2日に明治北海道十勝オーバルで予定しております。以上です。

嶋崎教育長
各委員
嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

その他(2)寄附受納についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

佐藤 課長

企画総務課の寄附についてご報告いたします。議案書61ページから66ページでございます。12月分の寄附といたしまして、地

域ぐるみでこどもを応援する活動の推進のため、市外在住者の方より79件、計213万6千円をこども学校応援地域基金にご寄附いただいております。企画総務課からは以上でございます。

村田 課長

学校教育課よりご報告いたします。66ページから70ページでございます。市外在住者の方から45件、計111万8千円を学校教育の振興のためということでご寄附をいただいております。

渡邊 課長

文化課よりご報告いたします。70ページ、71ページになります。市外在住者の方から12件、計36万4千円のご寄附をいただいております。

前原 館長

図書館よりご報告いたします。71ページから72ページでございます。市外在住者の方から24件、計62万7千円を図書資料充実のためご寄附いただいております。

柚原 園長

動物園からご報告いたします。72ページから94ページになります。市外在住者の方から328件、計876万4千円を動物園展示施設等の整備及び動物の購入のためとしてご寄附いただいております。

河瀬 主幹

スポーツ振興室よりご報告いたします。94ページ、95ページでございます。市外在住者の方から13件、計24万4千円をスポーツ振興のためとしてご寄附をいただいております。以上です。

嶋崎教育長

これから質疑に入ります。

各 委 員

ありません。

嶋崎教育長

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事 務 局

事務局から、その他説明事項はありますか。

嶋崎教育長

ございません。

各 委 員

事務局からは、特にないようですが、各委員から他にご意見、ご質問等があれば、お受けいたします。

嶋崎教育長

ありません。

別になければ、ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第3及び第4の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第6号により非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

嶋崎教育長

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより、会議を非公開といたします。

日程第3、報告第1号、帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画（原案）についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

報告第1号、帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画（原案）についてご報告いたします。議案書1ページをご覧ください。本実施計画原案は帯広市立小中学校適正規模の確保等に関

する基本方針及び計画に基づきまして、昨年6月から9月にかけてご議論をいただきました大空中学校適正規模の確保等地域検討委員会からの意見書を踏まえて作成したものでございます。議案書4ページ、目次をご覧ください。本実施計画は1. 大空中学校及び大空小学校の歴史及び特色のある教育活動から、7. 義務教育学校導入までのスケジュールの7章立てとなっております。5ページのはじめには、実施計画の策定の経緯と位置付けについて記述してございます。また、1. 大空中学校及び大空小学校の歴史及び特色のある教育活動では、両校の歴史や教育目標、教育活動の特色について記述してございます。6ページ、2. 学校の現状及び将来見通しでは、児童生徒数の推移及び将来見通し、通学区域の状況、学校施設の状況、近隣校の状況について記載をしてございます。続きまして、9ページ、3. 適正規模の確保等に関する取り組みの考え方では、大空中学校の小規模化によって、学習面、生活面、部活動などにおいて影響が懸念されますことから、基本方針に基づいて通学区域や近隣校との統合について検討いたしました。適切な通学区域の設定や通学手段などの面から、いずれも困難であるとしております。一方で小・中学校の通学区域が一致していることや地域との連携が積極的に図られてきているなどの地域特性を生かし、小中一貫教育の推進により、教育活動の向上が期待されること、加えまして、小中学校の施設を一体化して一貫校とすることにより、日常的な児童生徒の交流や教職員との係わりを通して、学校の小規模化による影響の緩和が一層期待できることから、学校施設の長寿命化改修と併せて、施設一体型の義務教育学校の導入を目指すこととしてございます。さらに地域と連携した教育活動の推進や他校との交流・連携など学校独自の取り組みの充実を図る旨記載しております。次に10ページ、4. 小規模化の影響に対する具体的な取り組みでは、①2022年4月に大空小中学校を統合し、施設一体型の義務教育学校を開校すること。②学校施設は、大空中学校の既存校舎・体育館を改修・増築して使用すること。③2019年度に大空小中学校合同による学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを推進すること。④地域住民等と連携した教育活動の充実を図ること。⑤小規模化の影響を緩和するための学校の取り組みを充実することの5項目を掲げるとともに、各取り組みの内容について記述してございます。11ページ、5. 学校の歴史の保存及び活用では、学校や地域の歴史を知ることができる物品を保存・展示することにより、児童生徒の理解を深めることについて記載しております。続きまして、6. 施設・用地の活用等の検討では、使用しなくなる小学校の施設及び敷地につきましては、公共施設マネジメント計画の基本方針を踏まえて、多様な観点から有効活用について検討することとし

てございます。最後に7. 義務教育学校導入までのスケジュールでは、2022年度の義務教育学校開校に向けて、市及び市教委の取り組み、学校の取り組み、地域等の取り組みの3つの区分による取り組みの内容とスケジュールを記述してございます。報告は以上でございますが、今後のスケジュールとしましては、明日17日の建設文教委員会に本原案を報告し、その後、地域において意見交換会の開催を予定しており、その結果も踏まえまして、2月の教育委員会会議において決定していただきたいと考えてございます。説明は以上です。

嶋崎教育長
塩野谷委員

これから質疑に入ります。

細かいことなのですが、適正規模の確保等に関する取り組みの考え方の中で、大空中学校の小規模化により、学校単独で設置できる部活動数が限られるという問題点があります。それに対して、学校規模を確保するために、例えば、緑園中学校と統合すると、これは解決されると思いますが、スクールバスの台数の確保や活動時間が限定されるということで否定されています。そして最後に、部活動などの面において、より多くの機会を確保、他校との交流・連携を行うとありますが、その流れでいくと、この件については根本的な解決になっていないのではないかと思います。今のままだも他校と交流しなければならぬので、小中一貫教育をする、しないということには関係ないような気がします。

福原企画監

例えば、緑園中学校と統合しますと大空地区の子どもたちは日常的に行く形になります。ここに書いてありますように、スクールバス確保や部活動などに制約が出るということです。おっしゃるように、逆転している形に見えますが、部活動で合同のチームを進めて、小規模化の影響を緩和したいと考えております。

塩野谷委員
藤澤 委員

わかりました。

今のことについて、結局、この形では中学生の人数が増えるわけではないので、統合することがなければ、部活動は限られてくると思います。何らかの対策を取るということで、現在、野球部は大空中と四中が合同で行っていますが、今まで以上に具体的な対策を考えていかなければならないと思います。中学生にとって部活は学校生活でも大きなものですから、生徒の意向に沿ったものにしてほしいという要望です。

福原企画監

おっしゃるとおり、現在、野球部は四中と合同で行っております。部活動の数も少ないので、子どもたちの意向も踏まえて進めていかなければならないと思いますので、どのような形がいいのかということも含めて検討したいと考えております。

藤澤 委員
田中 委員

ありがとうございます。

私からも1つ、大空中学校の方に統合する理由について確認した

いと思います。

福原企画監

議案書10ページと12ページをご覧いただきたいと思います。まず、10ページ、(2)義務教育学校の位置及び施設整備のところ、中学校の校舎が小学校よりも比較的新しいということと、特別教室を多く有すること。さらに12ページの地図をご覧いただきたいと思いますが、隣接する大空公園の利活用も可能ということ。普段の授業等での使用では、グラウンドが足りなくなる想定はしておりませんが、例えば、少年団や部活動が同じ時間帯でバッティングする場合に、隣接する公園の多目的広場が野球場のようなグラウンドのため、中学校とも近く、指導の観点からも活用しやすいと考えております。このようなことから、中学校で長寿命化改修と増築を考えております。

田中 委員

わかりました。もう1点だけお聞きします。市教委の所管ではないのでしょうか。大空小学校の利活用については、これから全市的に議論されていくという理解でよろしいでしょうか。

福原企画監

はい、その通りでございます。今後、多様な観点から有効活用について考えていきたいと思っております。

田中 委員

ありがとうございます。

藤澤 委員

体育館を改修・増築とありますけれど、授業と並行して改修工事を行う形だとすると、その間の体育館が使えない時期は、何か対応を考えていますか。

篠原 課長

体育館1つでは足りないと考えておりますので、軽運動場的な小さな体育館を建設する予定でございます。建設と改修の年度をずらすなどして、できるだけ体育館が使えない時期がないような形で整備していきたいと考えております。

藤澤 委員

ありがとうございます。

嶋崎教育長

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

日程第4、報告第2号、帯広市小中一貫教育推進基本方針（原案）に対するパブリックコメントの結果について及び報告第3号、帯広市小中一貫教育推進基本方針（案）についてを一括して議題といたします。

直ちに説明を求めます。

中野 部長

報告第2号、帯広市小中一貫教育推進基本方針（原案）に対するパブリックコメントの結果について及び報告第3号、帯広市小中一貫教育推進基本方針（案）についてご説明いたします。はじめに帯広市小中一貫教育推進基本方針（原案）に対するパブリックコメントの結果についてご説明いたします。議案書29ページの資料、パブリックコメント意見募集の結果公表をご覧ください。帯広市小中一貫教育推進基本方針（原案）につきましては、昨年11月29日から12月28日までの30日間パブリックコメントを実施いたし

ました。その結果、5名の方から計7件のご意見をいただいたところ
でございます。意見の取り扱いにつきましては、案を修正すると
するものが1件、既に案に盛り込んでいるものが3件、今後の参考
とするものが3件としたところでございます。いただいたご意見の
概要及び意見に対する帯広市の考え方につきましては、資料下段の
意見等の内容のとおりでございますが、詳細については省略をさせ
ていただきます。続きまして、帯広市小中一貫教育推進基本方針(案)
についてご説明いたします。議案書33ページでございます。本案
は、パブリックコメントの結果等を踏まえて、原案を修正したもの
でございます。主な修正箇所としましては、議案書51ページ、6.
小中一貫教育の円滑な推進に、新たに(3)幼稚園・保育所から小
学校への滑らかな接続としまして、エリア・ファミリー構想に基づ
く、幼稚園・保育所との連携の取り組みを引き続き推進していく旨
を追記したものでございます。報告は以上でございますが、今後は
本会議でのご意見なども踏まえながら、明日17日開催の市議会建
設文教委員会にパブリックコメントの結果と基本方針案を報告し、
2月に開催予定の教育委員会会議において、基本方針を決定してい
ただきたいと考えてございます。以上です。

嶋崎教育長
田中 委員

これから質疑に入ります。

2点質問したいと思います。1つは、今回のパブリックコメント
で5人7件という数字について、帯広市では様々なところでパブリ
ックコメントを募集していると思いますけれど、客観的にこの数字
は、どのくらいの関心度があるのかお伺いしたいと思います。2つ
目は、意見内容で保育園と幼稚園の関連性を深めていただきたい
というお話から、51ページの(3)が付け加えられたという理解で
よろしいでしょうか。

山下調整監

まず、パブリックコメントの数について、平均の数を取ったこと
はありませんが、一般的には市民の皆さまが興味を持たれている内
容につきましては、数十件寄せられることもございますし、中には
1件もないケースもいくつかございます。今回につきましては、平
均的ではないかと思っております。追記の内容につきましては、ご
説明させていただいたとおりですけれど、44ページ、4の(3)
にも、現在行われております、エリア・ファミリーでの取り組みと
して、幼・保との連携を進めるという記載はありましたが、今回の
パブリックコメントのご意見や庁内での議論や庁議の中でも、こう
いった視点は大切ではないかということもございまして、改めて明
確に示させていただいたということでございます。

田中 委員
藤澤 委員

ありがとうございます。

パブリックコメントの中にも教員の負担が多いというご意見もあ
りましたので、いろいろな取り組みを行っていただきたいという要

望です。よろしく申し上げます。

塩野谷委員

この意見の概要を見ると、藤澤委員もおっしゃったように、教職員の負担が増えることが書かれています。移行期は一時的に増えると思いますが、ある程度体制が軌道に乗って、現在の教職員の数で、より効果的に運営ができるような形を目指してほしいと思います。帯広市が目指す小中一貫教育の基本理念に、確かな学力と豊かな人間性・社会性を身に付けた、帯広の明日を拓くたくましい子どもを育成するとあります。要するに、本来の学校組織と目的をより効果的に達成できるような形にしてほしい。ただ、移行期については、先生方は大変だろうと思いますが、乗り越えた後は、ぜひ目指していただきたいと思います。

中野 部長

パブリックコメントの結果でも、市教委の考え方については同様のことを書かせていただきましたけれども、塩野谷委員のお話のとおり、移行期については学校現場でも戸惑い等があるかと思えます。帯広市としては、具体的にこうした取り組みについては初めてとなりますから、最初の苦労はあろうかと思いますが、既に先進的に取り組んでいる事例等も参考にし、手引きを作成するなど、支援しながらスムーズに導入されるよう努力していきたいと考えてございます。

塩野谷委員
嶋崎教育長

ありがとうございます。

他になれば、質疑を終結し、本件を終了します。

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これもちまして、平成31年第1回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。